

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

一刻も早い自校調理の給食再開を 民間委託化方針をおしすすめた 府教委の責任は重大

9月8日に府教委は、「9月6日付けで、当該学校給食調理業務委託会社（株式会社 ホーユー）との契約を解除」したことを保護者に知らせました。併せて、11日以降も、「デリバリー弁当（弁当による配達）は継続し、メニューは学校給食に沿ったものになる」としています。現時点では、自校調理給食の提供がいつ再開されるか見通しは示されていません。再開の見通しが明確に示されないため、「いつまでつづくのか」と不安や憤りが広がっています。

給食調理再開の見通しが立たない

9月4日から8日まで、一般のデリバリー弁当での対応が続きました。子どもたちには、「給食が無いことで、パニックになっている」「弁当では食べられない」など深刻な影響がおきています。また、保護者や教職員からも切実な声が多数寄せられています。

学校給食が提供されず、デリバリー弁当が続く事態は、子どもと教育に深刻な悪影響をもたらします。自校調理の給食を一刻も早く、再開することが急務であり、大障教は府教委に、早急な給食再開と再開日時を関係者に示すことを強く求めます。

府教委の民間委託化方針の問題点

今回、報道によると、「ホーユー」の社長は、「食材費や人件費は高騰しているが、給食業界は非常に安い。ビジネスモデルは崩壊している」と取材に答えています。給食調理業務への参入事業者は、学校給食調理の受注をとるため、競争入札のもと、価格を下げることで参入を図っています。また、府立支援学校の学校調理業務委託においても、設定された入札価格では、「契約更新したいが、あまりに安いいため、入札に参加できない」という事業者の声もあります。府教委は2002年に「民間の力を活用する」として、学校給食調

理業務の民間委託化方針を示し、2004年2学期から順次、民間委託化をすすめてきました。府障教（当時）は、「学校給食は子どもたちの命に直結し、成長・発達の土台となる極めて重要で大切な教育内容である。学校と教育行政が直接責任をもつ直営自校調理方式を堅持せよ」と訴えました。しかし、府教委は民間委託化を強行し、これまでに学校給食を提供する府立支援学校37校中33校でおしすすめてきました。

2017年、府教委は、人材確保や事業者の参入を確保するため、支援学校調理業務委託仕様書の見直しを行い、資格要件を緩和しました。その内容は、調理業務従事者（調理員）について、「調理師資格または管理栄養士資格のいずれか」「特定給食施設3年以上の経験」から、「栄養士資格のみでも可」「経験年数は問わない」としました。そして2年半後の2019年6月、ふたたび資格要件を緩和し、調理業務従事者（調理員）は資格免許要件を不要とし、調理業務に従事したことができないようにしました。併せて、業務責任者等の資格要件についても緩和しました。

民間委託化方針の撤回を

大障教は、かねてより学校給食の調理業務民間委託化について反対の立場をとっています。それは、①子どもの命に直結する学校給食は大阪府が直接責任を負うべきであること、②利潤を優先する民間業者では採算が最優先され、事業主の撤退など、学校給食の調理業務の安定性が損なわ

書記局の つすじゅ

東大阪の保護者・教職員・関係者は、「東大阪市に知的障がい支援学校の建設を求める請願」署名を繰り広げています。目標は年内1万筆。この間の大障教職場での協力で感謝を申し上げます。

八尾支援学校をはじめ知的障害支援学校の「過大・過密」、教室不足問題は人権侵害です。署名に奮闘する地域の小学校の保護者の声を紹介します。「東大阪市の子どもたちが通う八尾支援学校は387名在籍しており、うち東大阪市の子どもたちは193名。半教近くが東大阪市の子どもです。200名前後が望ましい」とされている支援学校で400名近い子どもたちが詰め込まれていることで、教室が足りず、図書室や音楽室といった教室をなくし、普通教室に転用されています。この現状を小学校に置き換えてみてください。これだけ人数が多ければ、きっと図書室や音楽室をなくす選択はせず、新しく学校を建てるか増築する等、早急に対応されるのではないのでしょうか。息子は重度の知的障害がありますが、図書係になるほど本が好きで、音楽も好きなので、知的障害児の学校だからと軽んじられている状況に悲しい気持ちでいっぱいです。

保護者の皆さんは、相談支援事業所や放課後等デイサービス事業所をはじめ、様々なつながりを通して署名を広げています。今夏の猛暑のなか数度の街頭宣伝にも取り組みました。東大阪市立小中学校の退職教職員も、「東大阪の子どもたちに支援学校を残そう」と大奮闘しています。

5月から署名をスタートさせ、8月末の時点で9千筆を超え、目標まであと一息。学校建設の扉を必ず開きたい。障害のある子どもたちの未来のために。最後に拙歌。

だんだんと 高くなりゆく街頭に
はじめて立ちし母親の声



「子どもたちに安全安心の給食を！」大障教に寄せられた声



保護者から寄せられた声

- 今回、給食がストップとなりうちの息子は、すごく残念そうです。献立を見て今日は何か？今月はどんな献立かな？とか。ここ数年、入札などで、頻繁に業者さんが代わりとても不安でした。結果今回のような状態に。偏食のある息子も、給食は、完食できる唯一の提供の場です。なので、安心、安定した給食提供が望みます。
- 給食から仕出しのお弁当ですが本当に困ってしまいます。療育園から支援学校を選んだ一つが酷い偏食だったので。1年から徐々に先生の協力もあって食べられる食材が増えて高学年になってからは本当に給食美味しいと食べられるようになっていたので残念でなりません。
- 学校では問題なくお弁当を食べてきたけれど、帰ってから明日は給食じゃないのか、またお弁当なのかと何度も確認し、布団に入ってから給食じゃないから明日は学校休むと泣いて暴れて大変でした。
- うちは1、2年生の時に全く給食を食べずで(環境の変化が大きかったのか)やっと3年になって完食できるようになったので安心していただけるところでの、お弁当…。本人は好きなメニューで食べているようですが栄養状態も含めて早く元の給食に戻ってほしいなと思います。

教職員から寄せられた声

- 給食のメニューを見て楽しみにしていた児童が、突然食べられなくなったことで悲しんでいる姿を見て胸が痛む。
- 咀嚼が少ない生徒にとっては、汁物がなくて食べにくいそう。お茶をいっぱい飲んでる。
- 給食では、横につき介助しながら食事をとれていたが、お弁当になり食べにくいこともあり、介助につきっきりになり、教員はバス発後に食事をとる場合がある。
- ペースト食の子どもは、ペーストができないため、家からラコールを持ってきて注入している。
- アレルギーの子どもは、アレルギーがあり、弁当の中に少しでも卵が使われていると食べられない。28品目除去の弁当はご飯と野菜だけ。
- きざみ食の子どもは、教員がお弁当の具をキッチンバサミで細かく切っているけど、食べづらそうにして時間がかかっている。教員の負担も大きく、今はフードプロセッサーで刻んでいる。
- 給食の分掌の教員はほかの会議にも出ずに、連日対応を話し合っていた。
- 家庭状況によっては給食で栄養バランスを保っている児童もいる。今回の問題で、健康面や食育の面でも給食が果たしている役割はとて大きいとあらためて実感している。
- 今回の問題は民間委託によって生じている。安い入札金額を設定しているから良い業者が入れない。子どもたちが食べる学校給食は、高くてもやはりしっかりと業者や大阪府の直営でおこなうべきではないか。
- 色々と問題を起こしていて、常に1人か2人の調理員さんが欠けた状態で回っていて、給食遅延や主菜の肉が生焼けで食べられないことがあるなど、そんな状況のことを教育委員会も把握していたのに、しっかりと対応をしなかったことにも大きな問題があると思う。

9月4日〜8日に提供されたデリバリー弁当のメニュー

連日のイベントや競技会など

日替りのお弁当

- 9/8 すきやきDX 8054 完全
すきやきDX 25.4×19.8cm
※お肉は新鮮なものを、お肉の旨味を最大限に引き出すように調理しております。
- 9/7 焼鮭DX 8055 完全
焼鮭DX 25.4×19.8cm
※お肉は新鮮なものを、お肉の旨味を最大限に引き出すように調理しております。
- 9/6 中華DX 8056 完全
中華DX 25.4×19.8cm
※お肉は新鮮なものを、お肉の旨味を最大限に引き出すように調理しております。
- 9/5 からあげDX 8057 完全
からあげDX 25.4×19.8cm
※お肉は新鮮なものを、お肉の旨味を最大限に引き出すように調理しております。
- 9/5 ハンバーグミックスDX 8061 完全
ハンバーグミックスDX 25.4×19.8cm
※お肉は新鮮なものを、お肉の旨味を最大限に引き出すように調理しております。

栄養教員部から寄せられた声

- 府立支援学校には栄養教諭(臨時技師)が1校1人配置されていて、各校の児童生徒の実態に合わせて栄養等考慮して献立作成しているにもかかわらず、調理業務委託の問題により作成した献立は実施されず、弁当対応となりやるせない。今回の3校は知的校だったが、これが肢体不自由校や寄宿舎のある学校だったらどのようなもっと最悪な事態になっていたのではと思う。支援学校にとって給食は学習活動の一環でもあるにもかかわらず、本来の望ましい提供が保証されない現状というのは改善が早急に必要である。
- 長い子どもでは、6歳から18歳まで給食を食べる。成長期の子どもたちの食事で、3食のうちの1食を学校給食が担っている。提供する側として、1食1食大切にしたい思いがある。しかし、給食会社の管理の問題で調理や衛生面がうまくいかず、その気持ちをおせた給食が子どもたちのもとへ届かないのが非常に悲しい。

大障教ニュースの裏面の図表について
2 3の項目の内容が重複してしまっています。訂正をお願いします。

(正) 3. 人事調書記入にあたっての注意事項

人事調書は、人事異動を前提に作成されています。それを踏まえて記入しましょう。特記事項には、「異動希望はない」「肢体不自由校以外への異動は希望しない」など、自分の意思を明確に記入しましょう。特記事項に書き切れない場合、「別紙にて添付します」と記入し、添付書類を校長・准校長に提出しましょう。保育、介護や健康上の理由で、人事異動を「希望する」「希望しない」場合は、その内容をいねいに記入しましょう。人事調書の提出後に事情・希望が変わった時は、速やかに学校長に申し出て、調書の差し替えをお願いします。人事調書の作成においては、データ入力を基本とし、難しい場合は手書きによる作成も可能です。